

第1学年 組 英語科学習指導案

場所 1年 組 教室

指導者 

ALT

1 単元名 Total English 1 Lesson 5 Ms. Hall's Family

2 単元について

(1) 内容について

本年度から新学習指導要領が施行となり、「聞くこと」、「話すこと」に加えて「読むこと」、「書くこと」の4技能を総合的に育成することが目標とされた。小学校で外国語活動を経験し、「聞くこと」、「話すこと」のコミュニケーションの素地を養ってきた中学1年生に「読むこと」、「書くこと」の技能を育成し、実際のコミュニケーションを目的として外国語を運用できるようにしなければならない。

本単元では、ALTがタク、ナナ、ジャック達に家族のことについて写真を見せながら紹介する設定となっている。写真を介して、ALTの両親や兄弟姉妹について3人は知っていくこととなる。

これまでに、生徒は自分自身の好きなことや自分自身がしているスポーツなどについて既習事項を用いて自己紹介できるようになった。自己紹介をする上で自分たちの家族について紹介できるようになることは自己紹介の内容をより深いものにしてくれる。ALTの家族の紹介を参考にして、自分たちの家族について紹介できるようにしたい。

(2) 言語材料の面から

本単元では、一般動詞3人称単数現在時制の肯定文、疑問文、否定文、whoで始まる疑問文を扱う。

一般動詞の3人称単数現在時制は中学生が英語でつまずきやすい言語材料である。「Iでもweでもyouでもないのが3人称である」という認識をまずはっきりと理解させた上で、3人称単数現在時制において一般動詞にsを付けること、また一般動詞にsを付ける時の規則の定着を図り、つまずきを減らせるようにしたい。

また、whoから始まる疑問文では、すでにwhatを学習していることを生かし、疑問詞を用いた疑問文の語順やwhoから始まる疑問文の意味を正確に理解させたい。

(3) 言語活動の面から

一般動詞の3人称単数現在時制は非常につまずきやすい言語材料であるので導入は丁寧に行いたい。be動詞を用いて、1人称、2人称、3人称という考えを生徒に理解させた上で、一般動詞の3人称単数現在時制へとつなげていきたい。導入の中での発問を工夫し、わかりやすい例文を提示したい。また、パンプラクティスやクリスクロスなどの活動をたくさん行い、生徒に3単現のsを用いた例文を多くinputしoutputにつなげていきたい。

whoから始まる疑問文では、写真や絵を用いて導入を行いたい。写真を用いて視覚的に何かを紹介することは非常に効果的で、ALTの自己紹介等でも積極的に写真を用いて行うようお願いしている。

写真だけではなく”realia（現物教材）”を用いることは聞き手の理解を深めることができる。この導入で行うことを参考にして生徒自身にもキャラクターや有名人などをクイズを作る活動を行い、発表させたい。

3 教科の課題と授業の関連

教科の課題「一人ひとりをいかした分かりやすい授業はどうあるべきか。」

50分という限られた授業時間の中で、生徒一人ひとりに個別の指導を行う時間を持つことは難しい。文法の解説や活動の手順の説明など一斉の指導がどうしても多くなりがちであり、英作文などの個別で学習に取り組む時間においても slow learner のケアで他の生徒のケアが不十分になってしまいがちである。ティームティーチングや学習形態を工夫し、どの生徒も満足して学習に取り組めるようにしていかなければならない。英語科としては一人ひとりに分かりやすい授業を展開し、生徒が自信を持って英語学習に取り組み、積極的に発表できるようにすることが課題であると考えた。

英語の授業では small talk や greeting activity を授業の最初に毎回行うことで学習の雰囲気作りを大切にしている。本単元でも、それらの daily activities を大切にしていく。また、一般動詞の3人称単数現在時制ではインタビュー活動を行い、生徒同士、または教師にインタビューしたことをレポーティングとして最後に3単現の文を書き、多くの生徒に発表させたい。who から始まる疑問文ではティームティーチングで生徒のクイズ作成を ALT と協力して援助していくことで一人ひとりの定着度を確認しつつ、自信を持って発表できるようにしたい。

4 生徒の実態（男子 名、女子 名、合計 名）

(1)学級の実態

(2)単元に関わる生徒の実態（調査人数： 名）

本授業にあたって生徒にアンケートを実施した。結果は以下の通りである。

① 英語は好きですか。

ハイ	イイエ
人	人

② 英語の授業に意欲的に取り組んでいますか。

ハイ	イイエ
人	人

(分析省略)

③ 英語でどんな力をつけたいですか。

話す力	名
聞く力	名
書く力	名
読む力	名

④ 英語の授業で好きな活動は何ですか。(()内は人数)

音読 ()	リスニング ()	インタビュー活動 ()
ビンゴ ()	クリスクロス/ラインゲーム ()	
フォニックス ()	英作文 ()	文法問題 ()

(アンケートの分析削除)

また、本単元に入る前に疑問詞を用いた疑問文の作り方についてどの程度定着しているかレディネステストを行った。結果は以下の通りである。

Q1 それぞれ日本語に合うように () に am/are/is から適する語を選び書き入れなさい。

① 私は大阪出身です。I (am) from Osaka. 【正解 人、不正解 人】

② あなたはジャイアンツのファンです。You (are) a Giants fan. 【正解 人、不正解 人】

③ こちらはトムです。This (is) Tom. 【正解 人、不正解 人】

④ 彼は英語の先生です。He (is) an English teacher. 【正解 人、不正解 人】

Q2 次のそれぞれの文の下線部を尋ねる疑問文を作りなさい。

① This is a notebook. 【正解 人、不正解 人】

誤答例) What this is a notebook.()/What is this a notebook?()/What is this.()/ 無解答()

② You play soccer. 【正解 人、不正解 人】

誤答例) What you play soccer?()/What do you play soccer?()/What your play soccer?()

What play soccer.(), 無解答()

(レディネステストの分析削除)

5 指導観～生徒の実態から

普段の授業から small talk という一言会話の暗唱の活動をウォーミングアップとして行っている。生徒たちの知りたい表現などにも耳を傾け、small talk を作成してきているので毎回10個の表現をすべて暗唱で言えるように練習に励んでいる姿が見られる。また、会話の活動でも自分が知っている表現を会話の合間に挟んで自ら進んでアレンジできるように工夫をしている生徒も見られる。一方、どの活動の取り組みにも集中力を欠き、なかなか暗唱できなかつたり、積極的にターゲットとなる文法事項を用いての会話活動に取り組めなかつたりする生徒もいる。そういった生徒にいかに集中して作業や活動を行わせるのが大切であると考えている。普段の様子から、そういった生徒たちは英語という自分たちの母国語とは違った言語を用いることに自信が無いから、活動を始める前からあきらめてしまうように感じる。そこで、本時の目標である who について、Who is this? という文だけでも書けるようにして、それ以外のクイズについては英文ではなく絵を描いて、その絵を級友に見せながら”Who is this?”とさえ活動が成り立つように工夫をした。

6 単元目標

- ・ 活動や課題に意欲的に取り組むことができる。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・ 一般動詞の3人称単数現在時制の-s/es や疑問詞 who を用いて英文を書き表したり、言い表したりすることができる。【表現の能力】
- ・ 一般動詞の3人称単数現在時制の-s/es や疑問詞 who を用いた文を正しく聞き取ったり、読み取ったりすることができる。【理解の能力】
- ・ 本文の内容を正しく読み取ることができる。【理解の能力】
- ・ 一般動詞の3人称単数現在時制の-s/es や疑問詞 who の文構造や使い方を理解できる。

【言語や文化についての知識・理解】

7 観点別評価規準

コミュニケーションに対する 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<p>① 相手の話に関心をも って聞いている。</p> <p>② 間違ふことを恐れず 積極的に話してい る。</p> <p>③ これまでに学んだ表 現などを積極的に使 おうとしている。</p> <p>④ 教科書の本文を熱心 に音読している。</p> <p>⑤ 間違ふことを恐れ ず、意欲的に単語や 英文を書くことに取 り組んでいる。(ある いは・・・書いてい る)</p> <p>⑥Review にある書くこ との課題に熱心に取り 組んでいる。</p> <p>⑦ これまでに学んだ表 現などを積極的に使 い、相手との会話を 続けようとしてい る。</p>	<p>①単現の-s/-es を用い て、発音や抑揚にも気 をつけて、正しく話すこと ができる。</p> <p>②Does she/he ～? を 用いて、相手に尋ねた り、また応答すること ができる。</p> <p>③Who is ～? の表現を 用いて、適切に受け答 えができる。</p> <p>④強勢、イントネーショ ン、区切りなどを意識し て正しく音読すること ができる。</p> <p>⑤3 単現の-s/-es の発音 に留意して正しく音読 することができる。</p> <p>⑥本文の場面や人物の 気持ちに即した音読が できる。</p> <p>⑦3 単現や疑問詞 who を用いた文を、大文字と 小文字の別、ピリオドと カンマ、綴り、語順など に留意して、正確に書 くことができる。</p> <p>⑧Review①の課題で、 語順、大文字小文字の 別、句読点などに留意し て、正しく書くことが できる。</p>	<p>①相手の話す英語を正し く聞き取ることができ る。</p> <p>②教科書の本文の内容 を、正しく聞き取ること ができる</p> <p>③Listening 問題で正答 することができる。</p> <p>④相手の問いかけに対し て適切に応答できる。</p> <p>⑤3 単現の-s/-es の発音 についても注意を払いな がら聞き取ることができ る。</p> <p>⑥本文の内容を正確に読 み取ることができる。</p> <p>⑦人物の発話の状況な どを捉えて、適切に読み 取ることができる。</p>	<p>① 強勢や抑揚、区切り など正しく発音する ことに関わる知識を 身に付けている。</p> <p>② 3 単現の文構造に ついての知識を身 に付けている。</p> <p>⑦ 疑問詞 who を用い た文の文構造につい ての知識を身に付け ている。</p> <p>⑧ を指すときの this や that の使い方や、 Some pictures of my family での of の 使い方についての知 識を身に付けてい る。</p> <p>⑨ Your family? とい う聞き返しの表現な どについての知識を 身に付けている。</p>

8 単元の指導計画と観点別評価規準 本時 5/7

過程	時間	学習活動と内容	評価規準【観点】 (評価方法)
5 A	1	一般動詞の3人称単数現在時制導入	3単現の-s/esの平叙文の文構造を理解している。 【知識理解】(観察・発言・ワークシート) 3単現の-s/esを含む文を聞いたり読んだりして理解している。 【理解】(観察) 言語活動に意欲的に取り組んでいる。 【関心意欲態度】【表現】(観察・ワークシート)
	1	5 Aの本文内容理解及び音読	本文の内容を読んで理解している。 【理解】(T-F/Q&A/観察) 3単現の-s/esの平叙文を本文の中で理解している。 【理解】(観察・ノート)
5 B	1	一般動詞の3人称単数現在時制の疑問文・否定文導入	3単現の-s/esの疑問文・否定文の文構造を理解している。 【知識理解】(観察・発言・ワークシート) 3単現の-s/esを含む文を聞いたり読んだりして理解している。 【理解】(観察) 言語活動に意欲的に取り組んでいる。 【関心意欲態度】【表現】(観察・ワークシート)
	1	5 Bの本文内容理解及び音読	本文の内容を読んで理解している。 【理解】(T-F/Q&A/観察) 3単現の-s/esの疑問文・否定文を本文の中で理解している。 【理解】(観察・ノート)
5 C	1 本時	疑問詞 who 導入	疑問詞 whoの文構造を理解できる。 【知識理解】(観察・発言・ワークシート) 疑問詞 whoを含む文を聞いたり読んだりして理解している。 【理解】(観察) 言語活動に意欲的に取り組んでいる。 【関心意欲態度】【表現】(観察・ワークシート)
	1	5 Cの本文内容理解及び音読	本文の内容を読んで理解している。 【理解】(T-F/Q&A/観察) 疑問詞 whoを本文の中で理解している。 【理解】(観察・ノート)
まとめ	1	3単現の-s/esや疑問詞 whoを含む文の確認 家族について紹介する英作文	3単現の-s/esや疑問詞 whoを含む文についてきちんと確認して理解している。 【知識理解】【関心意欲態度】(観察・ワークシート)

9 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ 疑問詞 who を含む文構造について理解できる。
- ・ 疑問詞 who を含む文を用いて、言語活動に意欲的に取り組むことができる。
- ・

(2) 本時の観点別評価項目

- ・ 疑問詞 who を含む文構造を理解している。【知識理解】
- ・ 疑問詞 who を用いて、クイズを作成し発表することができる。【表現】
- ・ 間違いを恐れず、コミュニケーション活動に参加している。【関心・意欲・態度】
- ・

(3) 本時の展開

過程	時配 (分)	学習活動と内容	形態	教師の指導・支援 (○) と評価項目 (◎) 評価方法 (【 Ⅰ】)														
Warm-up	3	1. あいさつ活動 A. 教師と B. 友人同士で 評価カードをランダムに配布し、そのカードを友人の元へ持っていき、英語であいさつをする。	個別	○生徒と一緒にあいさつ活動に参加し、元気よくあいさつできるように促す。														
	7	2. small talk 最初の1分間各自で練習 その後ペアで一言会話の暗唱テストを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">small talk・・・とっさの一言やあいづちの表現などの暗唱活動。ペアで行う。片方は日本語を言い、もう一方はその英語を暗唱して言う。</div>	ペア	○不安な生徒に対しては声かけをする。														
導入	15	3. 導入 ALT と JTE の会話から疑問詞 who の文構造に気付かせる。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">ALT</th> <th style="width: 50%;">JTE</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hi, Tom.</td> <td>Hi, Jessica.</td> </tr> <tr> <td>I have a question.</td> <td>Like what?</td> </tr> <tr> <td>Who is this man?</td> <td>He is Ichiro.</td> </tr> <tr> <td></td> <td>He is a baseball player</td> </tr> <tr> <td>OK. Then, Who is this girl?</td> <td>She is Fukuhara Ai.</td> </tr> <tr> <td></td> <td>She is.....</td> </tr> </tbody> </table>	ALT	JTE	Hi, Tom.	Hi, Jessica.	I have a question.	Like what?	Who is this man?	He is Ichiro.		He is a baseball player	OK. Then, Who is this girl?	She is Fukuhara Ai.		She is.....	一斉	○必要な情報をしっかりと聞き取れるように促す。
ALT	JTE																	
Hi, Tom.	Hi, Jessica.																	
I have a question.	Like what?																	
Who is this man?	He is Ichiro.																	
	He is a baseball player																	
OK. Then, Who is this girl?	She is Fukuhara Ai.																	
	She is.....																	

	<p>① ALT・JTE の会話 Power Point のスライドで有名人の写真を提示しながら会話を行う。</p> <p>② 生徒同士で一度相談 会話の内容にフォーカスして話し合う</p> <p>③ ALT・JTE の会話 会話で用いている英語について注意して聞かせる。</p> <p>④ 内容の確認</p> <p>4. 新出文法事項の確認 Power Point を用いて新出文法事項について確認をする。</p> <div data-bbox="454 817 778 1057" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>He is Ichiro.</p> <p>↙</p> <p>Is he Ichiro?</p> <p>↘</p> <p>Who is he?</p> <p>↙</p> <p>Who</p> <p>↘</p> </div> <p>ワークシートを用いて問題を解きながら再確認をする。 *穴埋めなど比較的答えやすい問題を出す</p> <p>5. 新出文法事項の練習 Power Point に表示される絵を見て、ALT の後に繰り返し、who を用いた疑問文の高等練習を行う。</p>	<p>グループ</p> <p>一斉</p> <p>一斉</p> <p>個別</p> <p>一斉</p>	<p>○相談がしっかりできるよう机間指導を行う。</p> <p>○教師の話をしっかり聞けるように机間指導する。</p> <p>◎疑問詞 who の意味・使い方を理解できたか。【観察・机間指導】(知識理解)</p> <p>A すらすら問題を解くことができる</p> <p>B ヒントを参考にしながら問題を解くことができる。</p> <p>C ヒントを参考にしても問題を解くことができない</p> <p>C の生徒に対してはわからないところを確認し、JTE が支援を行う。</p>
活動	<p>15</p> <p>6 活動 「who を使ってクイズを作ろう」</p> <p>①PowerPoint を用いて、最初にデモンストレーションとして ALT が who を使ったクイズを出す。</p> <p>②ワークシートにあるヒントボックスにヒントを作成し、オリジナルのクイズを作成</p>	<p>一斉</p> <p>個別</p>	<p>○ALT の話をしっかりと聞けるように JTE が机間指導を行う。</p> <p>◎who を用いてクイズを作ることができているか。【観察・ワークシート】(表現)</p>

発表	5	<p>する。</p> <p>例)</p> <p>He is a soccer player.</p> <p>He is a member of Manchester United.</p> <p><u>Who is he?</u></p> <p>★ヒントが思い浮かばない、ヒントを書けない生徒はプリントの裏にヒントとなる絵を書いて”Who is he?”と質問することもできる。</p> <p>7.発表 作ったクイズを発表する</p>	一斉 個別	<p>A 作れている</p> <p>B 間違いながらも</p> <p>C 支援がなければ作ることができない</p> <p>Cの生徒に対してはJTEが支援を行う</p> <p>○発表しやすい雰囲気を作る</p> <p>○大きな声で発表できるよう促す</p>
まとめ	3	<p>8.まとめ</p> <p>疑問詞 who についてまとめをする。</p>	一斉	
終末	2	<p>9.次回の連絡</p> <p>10.あいさつ</p>		○大きな声であいさつをする。

板書計画

Lesson5-C whoから始まる疑問文

Who is this?

-He is Ichiro.